

漏れ試験 I 問題集 2012 正誤表（1刷り：平成 24 年 6 月 30 日発行）

大変申し訳ありません。以下の修正をお願いいたします。

2013. 2

頁		誤	正
P31	5. 1	次の圧力変化法の一般的な・・・	次の圧力変化法の圧力を直接測る方法における・・・
	5. 4	・・・する弁。	・・・する弁である。
P32	5. 5 a) ~d)	圧力変化は・・・	漏れによる圧力変化は・・・
P32	5. 6 c)	乾燥した試験用ガス・・・	乾燥した圧縮空気・・・
P32	5. 8 d)	・・・異なる要因のひとつは	・・・異なる要因は
P33	5. 10 c)	マスタ容器法・・・	マスタ容器対比法・・・
P33	5. 12	Pa・m ³ /s	Pa・m ³ /s
P34	5. 13 d)	試験体からの漏れの量により	削除
P35	5. 18 b)	検出しようとする漏れ量が非常に大きいため、試験体の温度並びに大気圧及び温度の影響は実質的に無視できる・・・	大気圧及び温度の影響が無視できる・・・
P35	5. 19 d)	・・・ストレスを受けるので、変形などが見つかった時期に交換を行なっている。	ストレスを受けるが、試験対象ではないので影響を考慮しなくてよい。
P36	5. 22 c)	加圧前に圧力調整弁の調整圧が指示された試験圧であることを確認し、遮断弁を開き、加圧工程を行なった。	加圧前に圧力調整弁からの圧力を大気圧にして、遮断弁を開き、徐々に加圧を行った。
P39	6. 3 a)	廃棄ポンプ	排気ポンプ
P39	6. 3b)c)	ヘリウム	ヘリウムガス
P41	6. 9	ヘリウム-ディテクタ	ヘリウムリークディテクタ
P41	6. 10 b)	メンブレン型	メンブレン形
P42	6. 14 a)	ヘリウム	ヘリウムガス
P45	6. 25	2行目「・・・浸漬さる。」 6行目「・・・浸漬せる。」	「・・・浸漬させる。」 「・・・浸漬させる。」
P46	6. 29 a)	ヘリウム	ヘリウムガス